

# 安全でうるおいのある

## 暮らしやすいまちづくり

### 福祉

福祉施策についてですが、本町の人口は依然として減少しており、高齢化も少子化と相まって、平成十二年度は高齢化率三十三%と進んで参ります。

このような状況の中、いよいよ新たに介護保険が始まります。この制度発足に当たり、特に高齢化が進んでいます本町の状況を十分認識し、初年度としてこの制度を有効に活用していきたいと思えます。

更に、介護保険の対象外となった高齢者への対策も併せて行い、家事支援などの生活支援訪問サービスや生きがい対応型デイサービスなど、介護予防、生活支援事業及び、低所得者への対策として、現在ホームヘルプサービスを利用して居る方の利用料を一部軽減するなど、国により打ち出されている様々な特別対策を取り入れ、高齢者福祉の充実に取り組んでいきたいと考えます。

児童福祉については、平成十一年度より取り組みました延長保育

を引き続き実施し、また、福祉医療制度で乳幼児に対し、入院については義務教育就学前まで対象年齢を拡大するなど新たな取り組みを行います。

また、以前から推進しています各種福祉施策につきましても、社会福祉協議会の基盤強化を図りながら、関係機関と緊密な連携を図り、実施してまいります。



機能訓練教室の様子

### 生活環境の整備

本町の長年の懸案であります下水道整備についてですが、下水道は生活環境の改善及び公共用水域の水質保全という大きな機能をもつものであり、下水道整備事業は本町にとっても最も重要かつ急を要する課題であります。従って、平成十二年度には「下水道整備基本構想」を策定し、事業の概要を明らかにし、財政事情等を勘案しながら、平成十四年度には事業着手にこぎつきたい考えです。

また、上水道につきましては、老朽管の布設替えを計画的に行い、安定給水の確保に努めます。

### 廃棄物対策

ごみ対策は、世界的規模で問題となっており「容器包装リサイクル法」「家電リサイクル法」などの法的整備が進んでいます。今後、ごみ処理の体制は可能な限り資源化つまりリサイクルを進めていくことが不可欠です。

このため平成十二年度に長門地区広域行政事務組合でリサイクルセンターを建設し、平成十三年度から供用を開始する予定です。このことから本町としてもごみの収集及び処理体制の強化に努めるとともに、分別収集の徹底を行います。

### 道路整備

道路網の整備につきましては、国道四九一号線の大坊ダム付近から坂根にかけて道路改良・拡幅・架橋などの整備が順調に進められています。

県道では、久津・小田線、油谷港線などの道路改良が実施されていますが、大江から楊貴妃の里までの「楊貴妃ロマンロード」については、その名称にふさわしい観光ロードとして、環境整備を含めた改良工事が行われています。

公共事業費予算の削減による大変厳しい状況下ではありますが、早期完成に向けて強力に事業の推進を要請してまいります。

町道につきましては、蔵小田・宇津賀線の「みのが峠トンネル」から県道長門・油谷線を結ぶ道路改良工事が順調に進み、平成十二年度には完成し供用開始の予定であり、今後も町民の皆さんの生活道路網の整備・充実に努めてまいります。



工事中の町道蔵小田・宇津賀線